住宅用火災警報器を取り付けよう！

≪　取 り 付 け 位 置 の 解 説　≫

火災から大切な家族を守るため、
一日も早く住宅用火災警報器を設置しましょう！

1　どんな住宅用火災警報器を取り付けるの？

①　**原則として、煙式（けむりしき）の住宅用火災警報器を設置します。**
ただし、台所など火災以外の煙を感知するおそれのある場合は、熱式（ねつしき）の住宅用火災警報器を設置することができます。

②　防災設備取扱い店、電気器具販売店、ホームセンター、家電量販店などで購入することができます。

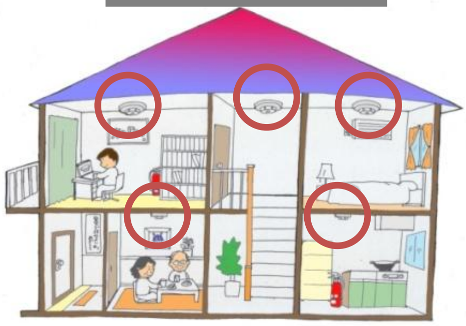
③　右のマークが付いている住宅用火災警報器は、国が定める法令規格に適合しています。

NS 日本消防検定協会

2　住宅用火災警報器の取り付け場所は？

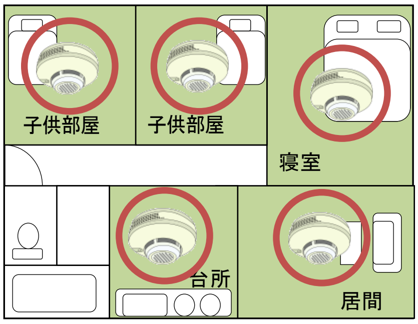
- 居間、リビング、子供部屋、寝室などの**各居室**と**階段**、**台所**の天井または壁に設置が必要です。　（浴室、トイレ、洗面所、納戸などは含まれません。）
- 自動火災報知設備やスプリンクラー設備が設置されている部屋等は、設置の必要はありません。

一戸建ての場合



➢　３階建ての場合は、１階と３階の階段の踊り場に設置が必要です。

マンションやアパートの場合



➢　基本的には、１階建ての一戸建てと同じです。

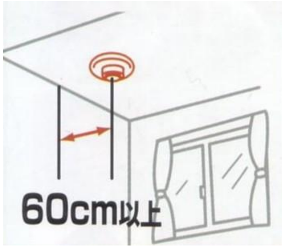
➢　メゾネットタイプの場合は、階段にも設置が必要です。

➢　建物の共用部分である階段、廊下、エレベーターホール等には、設置の必要はありません。

３　住宅用火災警報器の取り付け位置は？

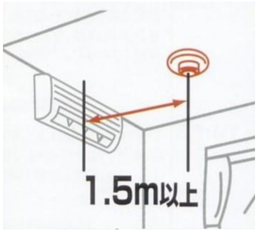
≪天井に取り付ける場合≫

- 壁やはりから６０cm 以上離れた、天井の中央付近に取り付けます。
（熱式の場合は、４０cm 以上）



≪ここに注意！！≫

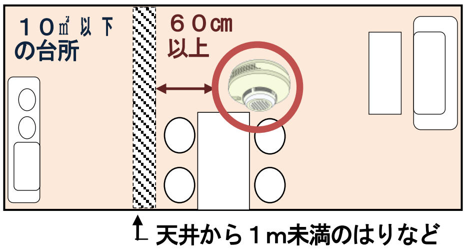
- ▸ エアコンの吹き出し口や換気口などの位置から、１．５m以上離しましょう。
- ▸ ストーブなどの熱または煙の影響を受けない位置にしましょう。



<u>ダイニングキッチン（ＤＫ、ＬＤＫ）などの場合</u>

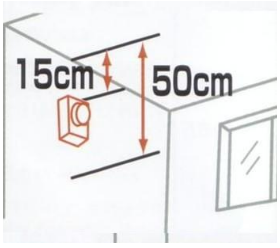
１０㎡以下の台所で、居室との仕切りがない場合、また、あっても天井から１m未満のはりやつり戸棚などの場合は、設置しないことができます。

この場合、居室の警報器は、はりなどから６０cm以上離れた台所に近い位置に取り付けます。



≪壁に取り付ける場合≫

- 天井から１５cm から５０cm 以内に住宅用火災警報器の中心がくるように取り付けます。
- ３０㎡以上の台所の壁に取り付ける場合は、煙式の住宅用火災警報器とします。



◆ご注意ください！◆

① 住宅用火災警報器の機種によって、取り付けの注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ず確認してください。

② 取り付けは、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を安全に行ってください。